

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	スタッフ1人ひとりの資質の向上を目指し、初心者のスタッフに向けては引き続き介護の基本の勉強会などを行ってきた。ベテランスタッフも基本に戻ることで自身の介護の見直しにもなることを期待し実施してきたが未だ十分ではない。利用者の重度化が進む中で必要とされる介護技術や知識を十分に身につけチーム全体が向上することを目指したい。	・スタッフ個人個人が自身の資質を上げることで、一部のスタッフへの偏った負担を少なくし、チームの一員としての動きが出来るようになる。 ・介護の仕事に対してやりがいや達成感もてる職場作りをしよう。	従来の入社時研修や勉強会を引き続き行う。初心者の介護技術向上に対しては出来ていないところに対して、重点的に指導をする。介護の仕事にやりがいを感じられる事、達成感が得られるようなことがあると良い。みんなで勉強会の一環として、課題に取り組んでみる。	12ヶ月
2		新型コロナ感染防止の為、外部との交流が減ってきている。家族との面会も自粛し、外部のボランティアも全くなかったことでホームの中だけで暮らしていることにストレスになっていないだろうか。スタッフが出来る事を、身体機能の維持、認知症進行予防の観点からも考えてみたい	自粛中にあっても退屈しない様、毎日を楽しく過ごして頂こう。特に身体機能の維持と認知症の進行予防を意識し、提供しよう。	スタッフは毎日、レクリエーションを提供しているが、コロナ禍で毎年実施していた行事や、毎月行っていた外食も中止している。その代わりとなるレクリエーションのバリエーションを増やし提供する。コロナ感染予防をしながら、散歩に出かけたり、お茶の時間を外で過ごして頂く等、変化にとんだ毎日を提供する。身体機能維持の為の体操や、手先や音で楽しめるレクリエーション等を提供する。上記の為に、スタッフ同士が情報交換をし、提供できるものを増やしていく様務める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。